

CTI PFAN アジア・クリーンエネルギー・
ファイナンス・フォーラム (AFCEF-7)

ビジネスプラン・コンペティション



応募締め切り
2016年6月20日

- 1 はじめに
- 2 コンペティション・ガイドライン
- 3 選考基準
- 4 スケジュール
- 5 アドバイザー
- 6 審査員
- 7 表彰
- 8 よくある質問
- 9 関係実施機関

スポンサー及び実施関係機関

スポンサー:



協力機関・イベントパートナー:



1. はじめに

「気候変動を否定または無視することはもはやできない。今日気候変動ほど我々の惑星にとり脅威なものはない。地球は我々が住む唯一の惑星である。これから数年後、私は我々の子供たちや孫たちの目を見て、我々は地球を守るためにあらゆることに取り組んできたと言えるようになりたい。」

2015年4月

バラク オバマ
アメリカ大統領

我々と同様に、環境問題に対して関心を抱く方々は多数いることでしょう。現在抱えている環境問題の将来的な解決に向けた斬新・革新的なアイデアを持ち、そのアイデアをを実現化するのはあなたかもしれません。

気候変動防止技術イニシアティブ(CTI)は、地球温暖化対策事業を提案する起業家、新興/既存企業、プロジェクトチーム並びにコンソーシアムなどを育成し、気候変動対策事業に関心を持つ投資家とのマッチングを支援することで事業化を促進することを目指し、民間資金調達支援ネットワーク(Private Financing Advisory Network:PFAN)プログラムを実施しています。このCTI PFANプログラムを通し、今日までに、アフリカ、アジア、CIS諸国、中南米、カリブ諸国等のクリーンエネルギープロジェクトを支援し、8.02億米ドル(約883億円)が投資されています。

CTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム(CTI PFAN AFCEF)ビジネスプラン・コンペティションは、CTI PFANプログラムの一環として実施されています。今年、米国国際開発庁(USAID)、アジア開発銀行(ADB)、公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)等の支援を得て、第7回目の開催を迎えます(AFCEF-7)。

AFCEF-7では、以下の活動を行います。

①ビジネスプランのブラッシュアップのためのアドバイス提供

投資家の視点に立った際に、魅力的なビジネスプランを作成するために、以下の観点から担当アドバイザーらが助言します。

- プロジェクトの全体構成 ■財務面のプランニング ■投資家から資金調達を得るコツ
 - 技術的課題 ■地域コミュニティにおける制度面の課題
 - 事業を成長させるための戦略 ■ビジネスプランの立て方 ■魅力的なプレゼンの仕方 等
- ※財務面や技術面から幅広いアドバイスを受けることができます。

②資金調達の実現に向けた支援

CTI PFANネットワークに参画する投資家や金融専門家等、クリーンプロジェクトに関心を持つ投資家らとのコンタクトの機会を、本フォーラムに参加することで得られます。本フォーラムを通して、プロジェクト開発者と投資家らとのマッチング機会の可能性を広げ、プロジェクトの資金調達の実現を支援します。

③人的ネットワーク拡大の機会提供

本フォーラムに参加することで、ライバルの同業他者、多角的な視点を持つアドバイザー、PFAN関係者、投資家、金融コンサルタントなど幅広い人的ネットワークの構築が可能であり、彼らとの交流を通して有用な情報が得られます。

御社のビジネスプランの更なる向上と投資実現、さらには事業化のための有効な機会として、AFCEF-7を是非ご活用ください。

2. コンペティション・ガイドライン

資格要件

アジア地域に拠点をおく、もしくは積極的に企業活動をし、登記している個人や企業も含まれます。外国籍の個人や企業等による同地域においての事業案件も対象となりますが、代表者は当該地域を拠点として活動しているものとします。

事業の対象分野・技術

対象事業・プロジェクトは地球温暖化対策に資する技術や製品、サービスを提供するものとし、例として以下の分野が挙げられます。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">再生可能エネルギー利用・ バイオマス / バイオガス・ バイオ燃料・ 太陽光・ 風力・ 地熱・ 水力・ 潮力 / 波力（海洋発電） | <ul style="list-style-type: none">森林からのエネルギー生成製品農村電化・エネルギーアクセス分散型・オフグリッド発電エネルギー貯蔵・保管エネルギー効率・需要削減廃棄物からのエネルギー生成 / 回収排出量削減クリーンな交通手段 |
|--|---|

事業規模

原則として、（初期）投資が100万米ドル以上、5,000万米ドルまで（又は相当する他通貨額）の事業案件とします。100万米ドル未満の投資を複数回に分けて求める場合は、合計して100万米ドル以上となるものとします。

事業内容

例として以下のような事業を募集しますが、これらに限定されません。

- ・グリーンフィールドやブラウンフィールドにおける公共事業や分散型発電プロジェクト
- ・無電化地域の電化、オフ・グリッドやミニ・グリッドプロジェクト、熱エネルギー、環境に優しい調理方法など、遠隔地域のエネルギーへのアクセスの向上につながるプロジェクト
- ・既存技術の普及等の川下事業や、新たなクリーン技術の開発・商業化等の川上事業を含む、クリーンエネルギーや関連する技術に関するベンチャーの新規立ち上げあるいは事業拡大
- ・既存のクリーンエネルギー事業に付加価値を与える合併、買収、ジョイントベンチャー

機密情報と守秘義務

実施機関は参加者の事業コンセプト及びビジネスプランについてその機密性を尊重し、それらをコンペティションで使用する以外の目的で複製することはありません。審査員においても提出資料の守秘義務を認識し、同等の配慮が求められます。

参加チームにおいては、それが法的拘束力を有する合意ではないことを前提として、提出物の表紙に下記の免責条項を記載できます。

“This business plan is confidential and is presented solely for the purpose of evaluation in the CTI PFAN Asia Forum for Clean Energy Financing (AFCEF-7) Business Plan Competition. This plan may not be reproduced or redistributed in

whole or in part. By accepting a copy of this plan, the recipient agrees not to reproduce or disclose the contents of this plan to third parties without the prior written consent of its authors.”

「本ビジネスプランは機密書類であり、CTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム(AFCEF-7)ビジネスプラン・コンペティションにおける評価目的のためにのみ提示される。本ビジネスプランの全体若しくは一部を複製、再配布してはならない。本ビジネスプランの受領者は、作成者の事前の書面による同意なく内容を複製又は第三者に開示しないことに合意する。」

当フォーラム、ビジネスプラン・コンペティションの参加予定者がアドバイザー、主催者及び/又は審査員に守秘義務契約への署名を求めた場合、主催者はこうした依頼について理解をしますが、慣例及び実用性の観点から、AFCEF-7の一環として署名することはありません。

参加申込みと必要書類の提出

全ての提出物は電子媒体とし、必要書類はすべて英語で作成してください。また、提出するすべてのファイル(①参加申込書、②事業提案書、③財務モデル)のデータ容量は合計で20MBを超えないようにお願いします。

①参加申込書 (Project Data Sheet/Application Form)

以下のURLより所定のエクセルシートをダウンロードしてください。

<http://cti-pfan.net/event/call-for-proposal-afcef-7/>

必要事項を記入の上、以下のようにファイル名をつけて**エクセルの形式のまま**提出してください。

貴プロジェクト名_PDSApplicationForm_日付

※日付は年・月・日の順に記載してください。(例:2016年6月8日 → 20160608)

②事業提案書(Proposal)

書き方については、5ページの「3. 選考基準」をもとに審査されますので、この審査項目を全て満たすよう作成されることをお勧めします。また、様式については**ワード形式**で、以下のようにファイル名をつけて提出してください。ただし、表紙、本文、図表を含め20ページを超えないこと、また、ページ設定、間隔、文字サイズ、書体は自由ですが、読みやすくなるよう心がけてください。

貴プロジェクト名_Proposal_日付

※日付は年・月・日の順に記載してください。(例:2016年6月8日 → 20160608)

③財務モデル(Cash Flow Modelなど)

上記②事業提案書の補足説明資料(Annex)として提出をお勧めいたします。以下のようにファイル名をつけて**エクセル形式**で提出してください。最大3ファイルまで提出することが可能です。

貴プロジェクト名_Annex1_添付資料名(例:CashFow Forecast, PayBack Period Estimate)_日付

※日付は年・月・日の順に記載してください。(例:2016年6月8日 → 20160608)

応募書類提出期限・提出先

2016年6月20日(月)24時(日本時間)

afcef-7@cti-pfan.net までメールにてファイルを添付して送付

3. 選考基準

第一次選考: 事業提案書の提出

全応募者の中からCTI PFANが設定する下記の審査基準に基づき、約20案件が選考され事業開発、ビジネスプランの構成、デザインや投資計画に関する助言、指導を受けることができます。

NO.	審査基準	配点
1	価値提案とビジネスモデル: <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスプランの主目的、事業の合理性の明確化 - 投資提案の明確化 - 商業的実現性と収益性 - ビジネス/プロジェクトモデルの明確化 - 投資家にとっての魅力 - ビジネスモデルは拡張性および更なる拡張の可能性 - 競争上の優位性の明確化 	15%
2	市場理解及び分析: <ul style="list-style-type: none"> - 主要な顧客は特定 - 競合企業と将来的な代替品の市場への参入 - 市場規模、市場動向、障害や見通しに関する分析と知識 - 競争戦略や事業の強み、弱み分析 	15%
3	経営・運営チーム: <ul style="list-style-type: none"> - 関連した経験や実績 - チームに事業化を進める能力 - 運営能力の潜在的な不足への対処 	15%
4	運営・実施計画: <ul style="list-style-type: none"> - 実施目標と達成方法の分析 - インプットから最終的な製品およびサービス提供までに必要な活動についての分析 	10%
5	財務: <ul style="list-style-type: none"> - 資本支出、収益、経費の概観 - 仮定に対する説明 - 資金調達構造案 - 財務見通しと感度分析 - 出口戦略 - 財務予測とビジネスプラン草案に記された予測との整合性 - 資金要件、潜在的な資金源と投資対象としてのファンドへの訴求力 	10%
6	リスク緩和戦略: <ul style="list-style-type: none"> - 主要なリスクと適切な緩和策 	10%
7	環境や開発に対する利点: <ul style="list-style-type: none"> - 温室効果ガス(GHG)排出削減 - その他の環境面、開発面における利点(雇用機会創出、健康促進、等) 	10%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション: <ul style="list-style-type: none"> - 文書の構成と体裁 - 読みやすさ、理解しやすさ 	5%
9	プロジェクトの成熟度: <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト/ビジネスの成熟度 - 実施までに要する期間 - 投資対象としての完成度 	10%
計		100%

第一次選考では事業提案書の完成度ではなく、事業の成功の可能性が重視されます。しっかりとした経営陣を持ち、技術的に実現可能で、ビジネスモデルが証明されていることを示す案件を特定することに大きな関心が向けられます。

個別指導とビジネスプラン開発

第一次選考通過案件のマネジメントチームからの代表者1名が事業開発と資金調達能力向上を目的としたワークショップに参加し、アドバイザーによる助言、指導のもとビジネスプランと投資計画を更に発展させます。CTI PFANはクリーンエネルギー分野において経験豊富な専門家集団からアドバイザーを選出し、それぞれのプロジェクトに関連する技術やビジネスモデル考案の経験、実施国を考慮に入れアドバイザーを指定します。指導内容はフォーラムでの発表を想定し、各事業案件に求められる具体的な要件に焦点をあて考案されます。

第二次選考はアドバイザーが判断する個々の参加者の準備状態をもとに、以下の基準で行われます。この段階で参加者は二次選考通過案件と準選考案件に振り分けられます。二次選考通過案件にはファイナンス・フォーラムでプレゼンテーションを行う権利が与えられ、引き続きコンペティションでの選考対象となります。準選考案件は選考対象からは外れますが、ビジネスプランの更なる発展に向け、継続的に個別指導を受けることになります。

本審査段階においては下記項目を満たしているかを考慮しつつ、ビジネスプランを最終的に評価します。

NO.	審査基準	配点
1	価値提案とビジネスモデル: <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスプランの主目的、事業の合理性の明確化 - 投資提案の明確化 - 商業的実現性と収益性 - ビジネス/プロジェクトモデルの明確化 - 投資家にとっての魅力 - ビジネスモデルは拡張性および更なる拡張の可能性 - 競争上の優位性の明確化 	10%
2	市場理解及び分析: <ul style="list-style-type: none"> - 主要な顧客は特定 - 競合企業と将来的な代替品の市場への参入 - 市場規模、市場動向、障害や見通しに関する分析と知識 - 競争戦略や事業の強み、弱み分析 	10%
3	経営・運営チーム: <ul style="list-style-type: none"> - 関連した経験や実績 - チームに事業化を進める能力 - 運営能力の潜在的な不足への対処 	10%
4	運営・実施計画: <ul style="list-style-type: none"> - 実施目標と達成方法の分析 - インプットから最終的な製品およびサービス提供までに必要な活動についての分析 	10%
5	財務: <ul style="list-style-type: none"> - 資本支出、収益、経費の概観 - 仮定に対する説明 - 資金調達構造案 - 財務見通しと感度分析 - 出口戦略 - 財務予測とビジネスプラン草案に記された予測との整合性 - 資金要件、潜在的な資金源と投資対象としてのファンドへの訴求力 	10%
6	リスク緩和戦略: <ul style="list-style-type: none"> - 主要なリスクと適切な緩和策 	10%
7	環境や開発に対する利点: <ul style="list-style-type: none"> - 温室効果ガス(GHG)排出削減 - その他の環境面、開発面における利点(雇用機会創出、健康促進、等) 	5%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション: <ul style="list-style-type: none"> - 文書の構成と体裁 - 読みやすさ、理解しやすさ 	10%
9	プロジェクトの成熟度: <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト/ビジネスの成熟度 - 実施までに要する期間 - 投資対象としての完成度 	25%
計		100%

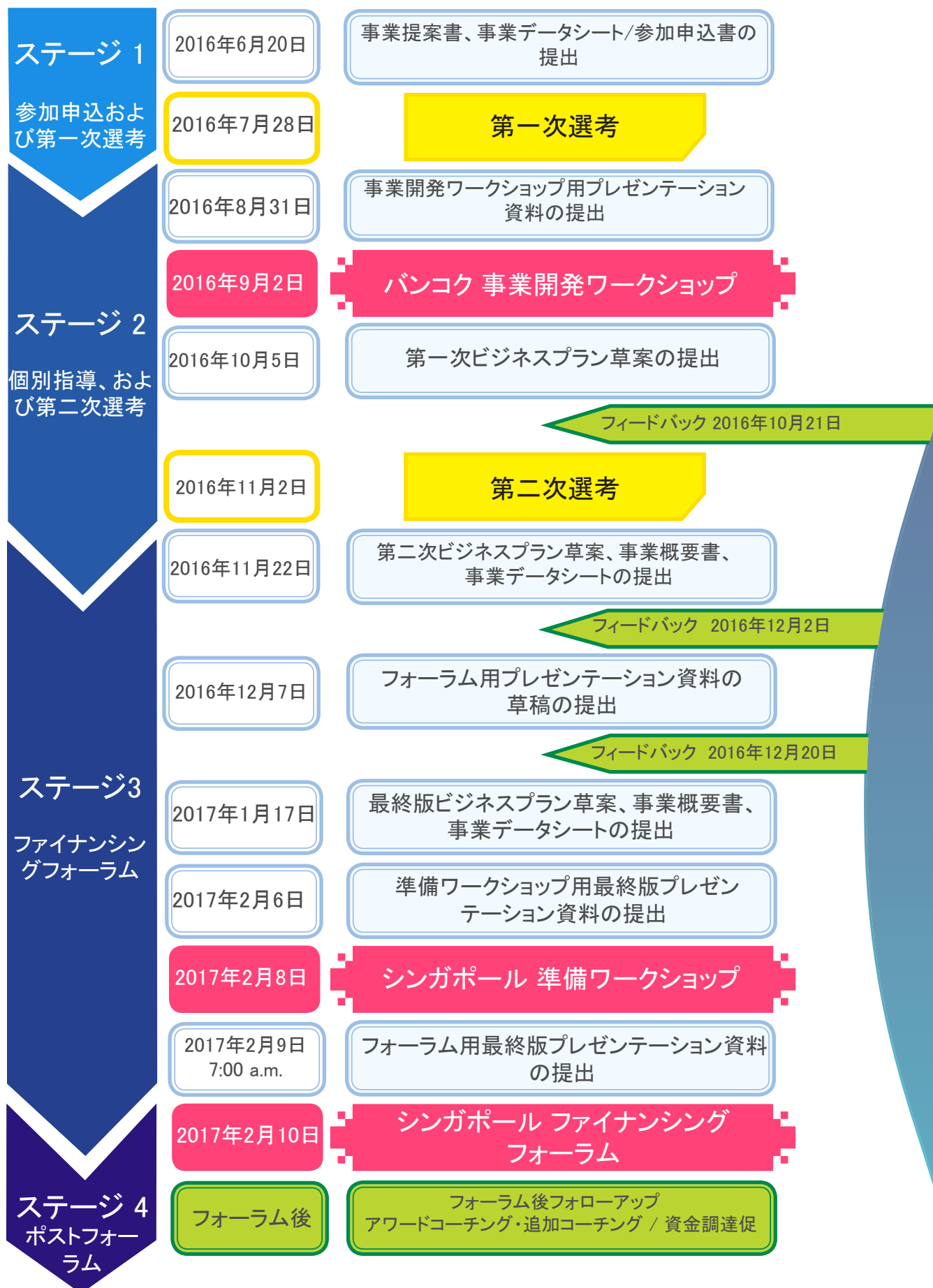
最終選考:フォーラムでのビジネスプラン発表

ファイナンス・フォーラムでは、最多12件の二次選考通過チームが投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行います。各々のプレゼンテーションの後、審査員による質疑応答が行われます。事前審査と準備のため、審査員にはフォーラムに先立ってビジネスプランのコピーが配布されます。

審査員は以下の評価基準にもとづいて最も魅力的なプロジェクトを特定し、最終的に受賞者を決定します。

NO.	審査基準	配点
1	価値提案とビジネスモデル: <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスプランの主目的、事業の合理性の明確化 - 投資提案の明確化 - 商業的実現性と収益性 - ビジネス/プロジェクトモデルの明確化 - 投資家にとっての魅力 - ビジネスモデルは拡張性および更なる拡張の可能性 - 競争上の優位性の明確化 	15%
2	市場理解及び分析: <ul style="list-style-type: none"> - 主要な顧客は特定 - 競合企業と将来的な代替品の市場への参入 - 市場規模、市場動向、障害や見通しに関する分析と知識 - 競争戦略や事業の強み、弱み分析 	10%
3	経営・運営チーム: <ul style="list-style-type: none"> - 関連した経験や実績 - チームに事業化を進める能力 - 運営能力の潜在的な不足への対処 	10%
4	運営・実施計画: <ul style="list-style-type: none"> - 実施目標と達成方法の分析 - インプットから最終的な製品およびサービス提供までに必要な活動についての分析 	10%
5	財務: <ul style="list-style-type: none"> - 資本支出、収益、経費の概観 - 仮定に対する説明 - 資金調達構造案 - 財務見通しと感度分析 - 出口戦略 - 財務予測とビジネスプラン草案に記された予測との整合性 - 資金要件、潜在的な資金源と投資対象としてのファンドへの訴求力 	15%
6	リスク緩和戦略: <ul style="list-style-type: none"> - 主要なリスクと適切な緩和策 	10%
7	環境や開発に対する利点: <ul style="list-style-type: none"> - 温室効果ガス(GHG)排出削減 - その他の環境面、開発面における利点(雇用機会創出、健康促進、等) 	10%
8	プロフェッショナル性とプレゼンテーション: <ul style="list-style-type: none"> - 文書の構成と体裁 - 読みやすさ、理解しやすさ 	10%
9	プロジェクトの成熟度: <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト/ビジネスの成熟度 - 実施までに要する期間 - 投資対象としての完成度 	10%
	計	100%

4. タイムテーブル



ステージ1:参加申請および第一次選考

参加申請書、事業提案書及び添付財務モデル

2016年6月20日(木)24時(日本時間)までに afcef-7@cti-pfan.net 宛に提出のこと。

一次選考通過チームに対しては、2016年7月28日(木)までに通知いたします。
通知直後から関係実施機関は、選考通過者に担当アドバイザーを割り当て、次段階に向けて準備に入ります。

ステージ2:個別指導および第二次選考

本段階では投資家に提示可能なビジネスプランを作成するために、CTI PFANの担当アドバイザーが一次選考通過チームに個別指導を実施します。

個別指導は無償で最長4日間(32時間)提供されます。

2016年9月2日(金)にバンコクで開催される事業開発ワークショップでは、第一次選考を通過した全チームが専門的な指導と知見を享受できます。

本ワークショップ前にビジネスプラン作成のためのガイドラインが配布され、これに沿ってプロジェクト開発者は事業提案書を修正していきます。

一次選考通過チームは2016年10月5日(水)17時(日本時間)までに第一次ビジネスプラン草案を提出するものとします。

提出されたビジネスプラン草案とCTI PFAN AFCEF-7コーディネーターの推奨により、最多12チームまでの二次選考通過チームが選ばれ、2016年11月2日(水)に発表されます。

第二次選考への提出者全チームに、今後の参考として、CTI PFAN AFCEF-7コーディネーターによる評価・コメントが提供されます。

二次選考通過チームは、シンガポールで開催される最終段階であるフォーラムで投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行います。

二次選考通過チームは2016年11月22日(火)17時(日本時間)までに第二次事業提案書(草案)、2-3ページ程度の事業概要書並びに最終版の事業データシート(参加申込書)を提出するものとします。

CTI PFAN AFCEF-7コーディネーターによるレビューが行われ、それに基づき、2016年12月2日(金)までに評価・コメントが提供されます。

シンガポールで開催されるフォーラム用のプレゼンテーションスライドの下書きは2016年12月7日(水)までに提出する必要があります。

このプレゼンテーションスライドに対するコーディネーターからのフィードバックコメントは、各プロジェクト開発に2016年12月20日(火)に提供されます。

最終版の事業提案書などの提出期限は2017年1月17日(火)です。

これらの提出物は2017年1月26日(木)に審査員に送付されます。

最終版のプレゼンテーションスライドは2017年2月6日(月)までに、AFCEF-7プログラムマネージャーに提出する必要があります。

ステージ3:ファイナンス・フォーラム

本フォーラムにて、ファイナリストは投資家の前でプレゼンテーションを行い、自身のプロジェクトの魅力をアピールすることができます。

2017年2月8日(水)から10日(金)シンガポールで開催されるフォーラムの詳細スケジュールは以下のとおりです。

2017年2月8日(水):準備ワークショップ

初日にはワークショップが行われ、二次選考通過チームは最終版のプレゼンテーションの最終仕上げを行います。ワークショップはCTI PFAN担当アドバイザーと投資に関する専門家による指導のもとで実施され、10日(金)の本番を想定した模擬プレゼンテーションを行う機会を与えられます。

2017年2月9日(木):準備ワークショップ後

ファイナリストは、前日の準備ワークショップで担当アドバイザーや投資に関する専門家らから受けたアドバイスをもとに翌日のフォーラムの準備を進めることとなります。また、担当アドバイザー以外のアドバイザーやPFAN関係者らからもアドバイスを受けることができます。

2017年2月10日(金):ファイナンスフォーラム

ファイナンス・フォーラムには関連分野に関心を持つ投資家が招待され、二次選考通過チームは投資家向けに15分以内のプレゼンテーションを行います。このプレゼンテーションは投資家並びにCTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワード受賞者を選考する審査員向けに行われます。審査結果は同日夕刻に発表され、フォーラム後のレセプションにおいて表彰されます。

ステージ4:ポスト・フォーラム

ファイナンスフォーラム終了後、アワード受賞チームはビジネスプランに更に磨きをかけ、投資家にとってより魅力的なものにするための追加個別指導を受けることができます。

また、CTI PFANやスポンサー、協力機関等が開催するイベントで紹介されることもあります。さらにその他のファイナリストとセミファイナリストは担当アドバイザーとAFCEF-7評価チームの推薦に基づき、CTI PFANのサポートを継続的に受け、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインに導入され、更なる資金調達達成の機会を得ることができます。

5. アドバイザー

一次選考通過の全チームに対する支援

- ・ 実施機関と担当アドバイザー間で合意した、最長4日(32時間相当)の個別指導を行います。
- ・ 個別指導は、CTI PFANネットワーク(参照:<http://cti-pfan.net/>)に参画する産業エキスパート、コンサルタント、アドバイザーにより実施されます。担当するアドバイザーはクリーンエネルギー市場において国際的に豊富な経験を有しています。
- ・ 個別指導は電子メールや電話会議によって実施しますが、コンペティションの第二、第三段階における直接面談を行うための資金も用意されています。更に、ワークショップではグループ指導も提供されます。

6. 審査員

審査員はアジア地域の事業環境に精通した投資家等によって構成されます。適格性と客観性確保のため、また利害の衝突を回避するため、審査員はビジネスプラン・コンペティション参加プロジェクトの選考終了後に指名、発表されます。

7. 表彰

CTI PFANアジア・クリーン・エネルギー・ファイナンス・アワードは3節で述べた審査基準に基づいて、フォーラムにて審査員から最も前途有望と評価された4事業案件に授与されます。フォーラムに参加した全チームは、継続して投資家へのアプローチに係る支援を受け、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインに導入するべく検討されます。表彰された4案件については、最終段階に向けたビジネスプランの改善、投資家への紹介、または商談促進などの更なる集中個別指導が与えられ、またCTI PFAN又はスポンサーや協力機関が催すフォーラムやイベントにおいて優先的に紹介されます。

8. よくある質問

1. AFCEF-7ビジネスプラン・コンペティションはどのような形態で開催されるのですか。

- ・ AFCEF-7ビジネスプラン・コンペティションは、気候変動防止技術イニシアティブ(CTI)、CTI民間資金調達支援ネットワーク(CTI PFAN)、米国国際開発庁(USAID)、アジア開発銀行(ADB)Energy For All(E4A)プログラム、公益財団法人 国際環境技術移転センター(ICETT)らがスポンサーとなり開催されます。
- ・ 事業概要書、ビジネスプラン、その他提出物の評価はCTI PFANネットワークのメンバーとアジア域内外の産業界からの選出者によって行われます。これらの個人の多くはコンペティションに参加するチームの個別指導にあたります。CTI/ICETTは各段階における最終選考チームに対して、評価チームの推奨に基づき最終承認を与えます。
- ・ 同フォーラムは、社会的投資証券取引所(Impact Investment Exchange Asia: IIX)、シンガポール持続可能エネルギー協会(Sustainable Energy Association of Singapore: SEAS)、フルアドバンテッジ(Full Advantage Co.,Ltd)、ドーン・コンサルティング(Dawn Consulting)、クリーンエネルギー・ソリューション・インターナショナル(CleanEnergy Solution International: CSI)、PPLインターナショナル(PPL International)の協力のもと開催されます。

2. 事業提案書作成のための日本語のガイドラインはありますか。

はい。<http://cti-pfan.net/event/call-for-proposal-afcef-7/>よりダウンロードが可能です。

3. 個別指導サービスはどのように手配されるのでしょうか。

実施関係機関が参加チームの必要要件を考慮した上で、適切なアドバイザーを各チームに割り当てます。指導料は実施関係機関が負担します。

4. 諸費用及び旅費の負担について教えてください。

- ・ AFCEF-7への応募、参加のための準備、それに伴う成果物の提出や通信に関わる費用は、全てチームの負担とします。
- ・ 個別指導を行うにあたり、事前合意されている第三者費用は上記3の説明にある通りです。
- ・ 実施関係機関は、事業開発ワークショップおよびフォーラムに参加するチームメンバー1名分の旅費(アジア地域内の発着限定)、宿泊費および参加費を負担します。

5. ビジネスプラン・コンペティションに参加することのメリットについて教えてください。

- ・ ビジネスプラン・コンペティションに提出された全てのビジネスプランについて、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインへの導入が考慮されます。導入された事業は事業開発とビジネスプランのプレゼンテーションに対する支援及び助言を継続して受け、更にCTI PFANの投資家ネットワークに紹介されることになります。
- ・ 一次選考通過チームは担当アドバイザーの指導を受けることにより、ビジネスプランの質を高め、投資家向けのプレゼンテーションに備えることができます。
- ・ 個別指導にあたる者は、特に関連市場、ビジネスプランの準備や資金調達において豊富な知見を有しています。全ての参加者は彼らの徹底した指導、情報、知見を無償で享受でき、ビジネスプランとプレゼンテーションスキルの向上につなげることができます。
- ・ フォーラムにはアジアのクリーンエネルギー分野で活躍する投資家や金融機関職員らが集います。投資家らとのネットワーキングの場が準備され、プロジェクト開発者は投融資を受ける機会を得ます。プレゼンテーションの結果、実施関係機関が継続討議を必要に応じて進めていきます。

6. プレゼンテーションにおいて、補足のためにPowerPoint以外の媒体を使用しても良いでしょうか。

第二次選考においてはビジネスプランの内容を補足するためビデオなど他の手段を使用することもできます。しかし、ファイナシング・フォーラムでの最終プレゼンテーションは、審査員の前で参加者自ら行わなければなりません。

9. 実施関係機関

今回、共催した機関の概要は以下のとおりです。

気候変動防止技術イニシアティブ (Climate Technology Initiative, CTI)

気候・環境にやさしい技術と実践のより急速な発展と普及を推進する、多国間による国際連携イニシアティブです。2003年にはIEAの実施協定として位置づけられました。CTIの意思決定は、加盟国代表メンバーで構成される執行委員会 (CTI Executive Committee) において行われ、現在の加盟国はオーストリア、カナダ、ドイツ、日本、ノルウェー、韓国、スウェーデン、米国の8ヶ国です。また、国際事務局は (公財) 国際環境技術移転センターに委任されています。

<http://climatetech.net/>

CTI 民間資金調達支援ネットワーク (Climate Technology Initiative Private Financing Advisory Network, CTI PFAN)

実効性の高い取組みとして期待されるCTI PFANプログラムは、UNFCCCの技術移転専門家グループ (EGTT) との協力の下CTIにより設立された官民パートナーシップです。クリーンエネルギー/再生可能エネルギー/エネルギー利用効率化プロジェクトに携わるプロジェクト開発者及び起業家による資金調達機会を拡げ、開発途上国及び経済移行国への技術移転を促進します。CTI PFANネットワークは民間金融機関・プロジェクトファイナンス専門家・非営利組織・多国間組織・政府組織から構成されており、プロジェクトに早い段階から専門的なアドバイス、指導を提供し、民間直接投融資の確保を支援します。

<http://cti-pfan.net/>

米国国際開発庁 (United States Agency for International Development, USAID)

アメリカ合衆国のほぼすべての海外援助を行う政府組織で長期且つ公正な経済成長の促進を目指しています。持続可能なエネルギー・イニシアティブ、保健衛生、民主化、紛争解決、人道支援などに焦点をあてた経済成長、農業開発、貿易振興を援助の柱としています。USAIDはワシントンDCにある経済成長・教育・環境局 (Bureau for Economic Growth, Education, and the Environment: E3) とタイ・バンコクに拠点を置くアジア地域開発ミッション (Regional Development Mission for Asia: RDMA) を通じてCTI PFANを支援しています。RDMAはアジア地域におけるCTI PFANのコーディネーターです。

<https://www.usaid.gov/>

米国国際開発庁 (USAID) – 民間資金調達支援ネットワークアジアプログラム (PFAN – Asia)

USAID民間資金調達ネットワークアジアプログラムは、クリーンエネルギー分野における投資を動員し拡大するため、アジアの発展途上国における企業、政府などの支援を行っています。USAIDのプログラムではこれまでに2億7,500万ドルを超える新規の民間投資をアジア全域の21のクリーンエネルギープロジェクトに動員することに成功してきました。2018年に完了予定の新5ヶ年計画では、少なくとも10億ドルの資金をクリーンエネルギー分野への投資に動員し、少なくとも4,000万トンの二酸化炭素に相当する温室効果ガスの排出削減を主要目的としています。

公益財団法人 国際環境技術移転センター (International Center for Environmental Technology Transfer, ICETT)

1990年に我が国の環境保全システムを円滑に移転していく機関として産・官・学の協力によって三重県四日市市に設立されました。環境関連技術及び環境保全策等を開発途上国に移転することを目的とします。そのために、研修・技術指導、調査・研究、交流・連携、情報提供・普及啓発などの取り組みを行っています。ICETTには2003年からCTIの国際事務局が設置されCTI PFANの組織運営に必要なとされる支援業務も遂行しています。本フォーラムは経済産業省の委託によりICETTが実施している「地球環境国際研究推進事業」の一環として開催されます。

<https://www.icett.or.jp/>

アジア開発銀行 (Asian Development Bank, ADB) – Energy for All (E4A)プログラム

アジア太平洋地域の拡大するエネルギー不足への対策として立ち上げられたE4Aプログラムは、ADB稼働地域でのエネルギーアクセスの主流化、それ以外のアジア太平洋地域の民間投融資の促進によるエネルギーアクセス関連企業の横展開・拡大を2本柱としています。2012年ADBはアジア太平洋地域における持続可能エネルギー事業の拠点として指定され、エネルギーアクセス、エネルギー効率向上、再生可能エネルギーに至るまで幅広い事業を展開している。

社会的投資証券取引所 (Impact Investment Exchange Asia, IIX)

アジア太平洋地域に活気に満ちた社会資本の市場を作ることを目的とした社会的企業です。社会的責任投資を促進するために、企業の成長段階に合わせた「Impact Incubator」と「Impact Partners」の二つのプラットフォームを運営し、また現在第三のプラットフォームである「Impact Exchange」も開発しています。これらのプラットフォームは、世界での活躍を目指すアジアの社会的企業に投資家とつながる機会を与えます。IIXはまた、アジア太平洋地域での社会的責任投資促進のための金融商品やエコシステムの開発に取り組んでいます。

<http://www.asiaix.com/>

シンガポール持続可能エネルギー協会 (Sustainable Energy Association of Singapore, SEAS)

再生可能エネルギー、エネルギー効率及び炭素開発・取引事業に取り組む企業や金融機関が協力して、有益なプロジェクトを共に実施していくための利害を代表し、共通の基盤を提供しています。本協会は業務の中心を、能力構築、技術強化、市況情報まで広げ、企業と市場の発展及び学習・訓練基盤を介して、メンバーが当該地域で持続可能な成長を実現する手助けをしています。SEASは、製品とソリューションの開発・輸出をするグローバル・クリーン・エネルギー拠点になるというシンガポールのビジョンの実現化の支援において、戦略的な役割を担っています。また、SEASはメンバーのプロジェクト実施を可能にするために地域のクリーン・エネルギー業界団体、多国籍企業、若しくは主要政府機関と戦略的な協力関係を構築しています。

<http://www.seas.org.sg/>

Full Advantage

エネルギーや環境分野におけるプロジェクト開発・コンサルティング会社です。よりクリーンで手頃なエネルギーを生成・節約し、より豊かで持続可能な環境に配慮しながら、パートナーやクライアントが未開発資源や独創的なプロセス、適切な技術ソリューションを利用する支援をしています。

<http://www.full-advantage.com/>

Dawn Consulting

独立系の企業財務コンサルティング専門会社で、ベンチャーキャピタル、プライベートエクイティ、プロジェクト資金調達、運転資金調達、海外直接投資、対外商業借入(ECB)、デューデリジェンス、トランザクションストラクチャリング、指導・育成及び企業戦略コンサルティングを対象としています。同社は、過去14年間にわたり、製造、エンジニアリング、不動産、ファイナンシャルサービス、インフラ、鉱業、及びIT、宿泊飲食業などのサービス業等、様々な産業においてインド全土および海外の企業にサービスを提供しています。

<http://www.dawnconsulting.com/>

CleanEnergy Solutions International (CSI)

市場分析・事業開発・財務のまとめ・資金調達の円滑化に特化したコンサルティング会社で、これまでにフィリピン、インドネシア、インド、タイ、その他のアジア諸国で再生可能エネルギー・エネルギー効率・クリーン輸送・その他環境分野に関連するプロジェクトを実施しました。また、CSIはフィリピンのCTI PFANカントリー・コーディネーターです。

<http://www.cleanenergy.com.ph/>

PPL International

CTI PFANのグローバル・コーディネーターであり、発展途上国でのクリーン/再生可能エネルギープロジェクトに特化した資金調達に関するアドバイザーです。アフリカ、アジア、独立国家共同体(CIS)及び東欧で活動しています。

<http://www.ppl-int.com/>